

京城日報

刊夕日八廿

鄭家屯事件解決督促

▲鄭家屯事件解決督促
▲鄭家屯事件解決督促
▲鄭家屯事件解決督促

北佛戰線敵襲擊退

▲北佛戰線敵襲擊退
▲北佛戰線敵襲擊退
▲北佛戰線敵襲擊退

英國輸送船隊之襲擊

▲英國輸送船隊之襲擊
▲英國輸送船隊之襲擊
▲英國輸送船隊之襲擊

實利を採りし新運賃

▲實利を採りし新運賃
▲實利を採りし新運賃
▲實利を採りし新運賃

勅使發遣の御儀

▲勅使發遣の御儀
▲勅使發遣の御儀
▲勅使發遣の御儀

内容は距離比例

▲内容は距離比例
▲内容は距離比例
▲内容は距離比例

李王殿下の参賀

▲李王殿下の参賀
▲李王殿下の参賀
▲李王殿下の参賀

朝鮮郵政の整理

▲朝鮮郵政の整理
▲朝鮮郵政の整理
▲朝鮮郵政の整理

大邱東門外近況

▲大邱東門外近況
▲大邱東門外近況
▲大邱東門外近況

仁川地稅完納

▲仁川地稅完納
▲仁川地稅完納
▲仁川地稅完納

東拓總裁の招宴

▲東拓總裁の招宴
▲東拓總裁の招宴
▲東拓總裁の招宴

原田部長上朝

▲原田部長上朝
▲原田部長上朝
▲原田部長上朝

東拓の引續書類整備

▲東拓の引續書類整備
▲東拓の引續書類整備
▲東拓の引續書類整備

北平學校組合決算

▲北平學校組合決算
▲北平學校組合決算
▲北平學校組合決算

學務委員會の報告

▲學務委員會の報告
▲學務委員會の報告
▲學務委員會の報告

電信取扱設置

▲電信取扱設置
▲電信取扱設置
▲電信取扱設置

平壤の近況

▲平壤の近況
▲平壤の近況
▲平壤の近況

光州の近況

▲光州の近況
▲光州の近況
▲光州の近況

仁川の近況

▲仁川の近況
▲仁川の近況
▲仁川の近況

山陰の近況

▲山陰の近況
▲山陰の近況
▲山陰の近況

朝鮮總督府

▲朝鮮總督府
▲朝鮮總督府
▲朝鮮總督府

社會公債

▲社會公債
▲社會公債
▲社會公債

新刊書目

▲新刊書目
▲新刊書目
▲新刊書目

東京市外より

▲東京市外より
▲東京市外より
▲東京市外より

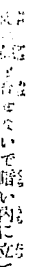
山陰の近況

▲山陰の近況
▲山陰の近況
▲山陰の近況

第二百一回

當本二天は手扶にて大きな山を描き
それから筆を執て山の半腹、四阿を
描いて其の中で老人が恭々圍んで居
る。下に流れを描いて橋、描き牛を
二頭、其の駒へ牛方を描き其の外小
口から轡水を描いたが、其の早いこ
ゝで腹間に描き上げてしまつた、
實に美事なものである、此の描きさ
といふは技が熟して居なければ出来
ない仕事で、傍に見て當た臨響も感
心して見惚れて居る。傍に「ア、ア、ア」

「表へ兎出して行つてしまつた、
女中は是を見て、女大層お客様はお
急ぎなさること」と思つたが俄大に
屏風に描いて逃出したとは思は
ない、其内に主人取右衛門も起て参
り、專一あの一瞬の興與態に溜つた二
人の客は何うした、女早立にするだ
云ふので夜の明けしたばかだとの
に室所の隅でお茶湯を喰べて急いで
お出なさいました、専一ウッ然うだら
う、何んば何んでもまきりが悪いか

[illegible][illegible]

甚いことを云つたな。専ら魔が執拗
 奴で二度も三度も来るので、終に
 まゝしいから、そんなに描きて
 と云ふならば宿務をして下さい、い
 外科一般 皮膚科
 泌尿器科 花柳病科
 院長 安部修三
 京城永樂町三丁目金光數番地
安部醫院
 電話四一九番
 ツナミと立腹ひませうと思つ云つ
 遣つたので、雪成程、専らうする
 タペ夜中に其の屏風に描いて今朝
 の明けぬい内に逃げてしまひまし
 雪、フーン然うか、甚處を描い
 な。専ら其魔物と云つて宛然其黒に
 つてしまふので、雪、鬼も其其の
 敷へ俺を作れて行きなさい、俺が
 て遣りませう。専らへ二と雪山を案
 して彼の坐敷へ通しました

一等芝三番十間切手一枚銀二名
つけて目立たず見て清はホーカ一
白粉生地の色 芝馬高松何子
白粉生地の色 芝馬高松何子
白粉ノリの上 北海道和歌山
白粉ノリのよき 上野縣
何の花粧に秘密があるかホーカ一
東京市銀座町一丁目
樹二等芝三番五間切手一枚銀一名

花になりましょよ物云ふ花にホーカ一
白粉薄化粧 御船市本佐通
白粉薄化粧 御船市本佐通
ホーカ一白粉 年召され御安で十年
兵隊原宿新橋高田小田若雅
廣くより 丸越大通西五ホーカ一
蓮何よりお婆や月日じゃなホーカ一
飾つけたのよ 民各々エ
外は捨てるも身の惜みホーカ一
白粉切上襟 本所大木三谷木沢
ホーカ一白粉白 三谷木沢
太素肌まで 三谷木沢
三等芝三番一四間切手一枚銀三十人

内見座統た夜とて

常世

當選表

豫て募集せるホーカー白粉鉢込み都々逸は應募數意外に大多數なりし爲め發表期日遅延仕り應募各位に對して恐縮と奉有、假本日方の通り發表仕り候間左の條取御了知被下度候

一、投票品は十一月一日に當選仕り候
一、投票品は等には賞品を給り不出候
右御意見御希望の方に得難きを申し申候
一、落選品は投票作爲に於て出品者の所より有餘無貨品者を見て當選御了知被下度候

大正五年十月
東京神田和泉橋
堀越嘉太郎商店
振替東京五十六番

一日の本
御園白粉は

婦人界の大評判

今日では白粉の種類は澤山ある様で
すが、塗けて試てノリとノビが良く
毫しも斑にならず非常に美しく着
き、其の御化粧姿が何處迄も高尚に
見えまする點に至つては、何んと申
ましても、御園白粉が一番で御座い
ます

とは

東京や大阪は無論の事日本國中何地の御人方も申合た處に有仰る
お言葉で御座います。追て海國三松は、日本で一番長い経験に基き
美容と衛生と云ふ二つの肝要な目的に適ふ權に十分に注意を拂ひ日
に月に品質の改善に努めて居るからであります。

元資發品粧化園御料御
 店商屋見丸


鋪本品粧化園御料御
 園蝶胡東伊

(1961)

各種染料
地方より御注文は
御希望の通買次可
料鹽
後藤藏
京城長谷川
電話二

結核専門
古賀病院
佐賀縣基里村
鳥栖市大馬路10丁

營業品目


 乾 雜 海 清 銘
 產
 詰 物 物 穀 酒 茶
 漆 家 文 荒 履 仁
 紙 川 川 新 宮 本
 器 具 具 物 物 町 町
 金 農 石 石 陶 磁 津 津 津
 物 具 炭 油 器 器 田 田 田
 洗 濯 石 洋 日 京 サ 提 兄
 入 蠟 釜 釜 釜 井 燈 弟 弟 兄
 蒲 團 中 小 鐵 箱 飯 屋 屋 屋
 綿 綿 綿 緋 鉢 鉢 鉢 鉢 鉢
 本 本 本 店 店 店

電話七六二番 柳屋口 座 京橋三八九番

東京の
 香気がよくて
 垢がよく落ち
 肌を美しくする
 お肌への石鹸

日本一の
 は
 フグリン
 フグリン
 フグリン

東京の
 香気がよくて
 垢がよく落ち
 肌を美しくする
 お肌への石鹸

日本一の
 は
 フグリン
 フグリン
 フグリン

支店東京城黄金町一丁目

京城日報

THE UNIVERSITY OF CHICAGO

に擴張せんとするの要求

天津駐在佛國領事は

最後の通牒を發せるが、

天津守備の、安南佛兵三

事實を明にしたるより、

騰し、佛貨排斥の爲め、
於ける、中法銀行は取

止まらずに

より由々しき大問題を、

那政府は、本事件の突發と

服臟を試み、更に駐佛胡

公使は、頑として、支那

し、しやうちやう朱省長をして、きんりき極力

さる也。

件に對し辯明する處に依

明治二年、俄國に當分の
賠償に、老西開租界擴張

地方に、郷土兵士を配置し、
側よりは何等の抗議だにも

巡警の職務共行、及び

10

置きし所以は一に園内の安全を図る。無く酸化した礫石が硫化に變じて、こと言へば酸と雖も、要するに園都に仕舞つた爲め折角の繙録も遂に使つての繁榮日に儉んとして、高橋、華屋軒、ふ事が出ず、全く腐りにを並べ、社寺の盛極多きを加へし丁つて仕舞ふす。其處之れ以下は不_レの依り、薩兵一度城下に臨めば假令落_レ可むといふので、平林主任以下一同必_レの城の壁のみしとするも、其處廣闊、砂となり谷間に居つて築城、町

日は草重々々^{くさしげ}と争^{あらそ}みたるこの草原に
か思はず
煙^{けむり}ぶる煙^{けむり}の中に高聲^{たかこゑ}をかる男等^{おとたち}の
ふ聲^{こゑ}かも
つつきでもいればいつまでも一人^{ひとり}な
秋^{あき}の川原^{かわはら}は水の細^こやか

高等學校訓育學叢書 第九卷 教育行政ノリ
 本年九月 完結ノ法科講義錄、法學選科講義錄ハ初號ヨリ完備ス、
 希望ノ向ニ至急申込アレ

東京駿河臺 明治大學出版部

本行ハ素之レ商利ノ目的一ニ出テタルモノニアラス全ク参考書トシテ發行シタルモノナルヲ以テ發賣部數ニ限リアルカ故ニ希望諸彦ハ速ニ御注文アラムコトヲ
 京城大平通一丁口
 板橋東城三七番
 京城日報社代理部

[illegible]

[illegible]